

診断時から始める 緩和ケア

～治療期のケアに携わる
専門看護師の立場から～

聖路加国際病院
オンコロジーセンター
高橋美賀子

患者さんの緩和ケアに対するイメージ・思い

症状をとって
苦痛なく過ご
たい

静かに穏や
かに過ごす
たい

緩和ケアの情報不足

自覚症状は何も
ないのに
ケアなん

急な緩和ケアの提案もあり

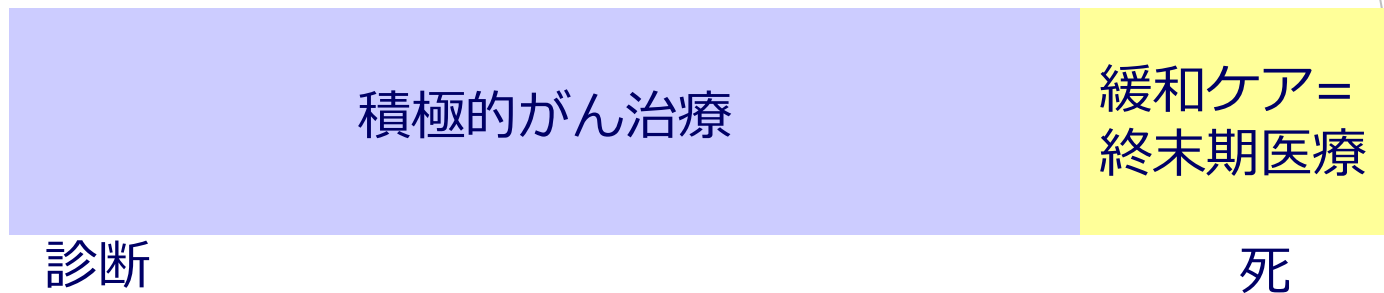
感染症治療
放射線治療

急に緩和ケアと
言われても受け
入れられない

症状緩和で
きたら退院

緩和ケアの適用時期

以前の考え方

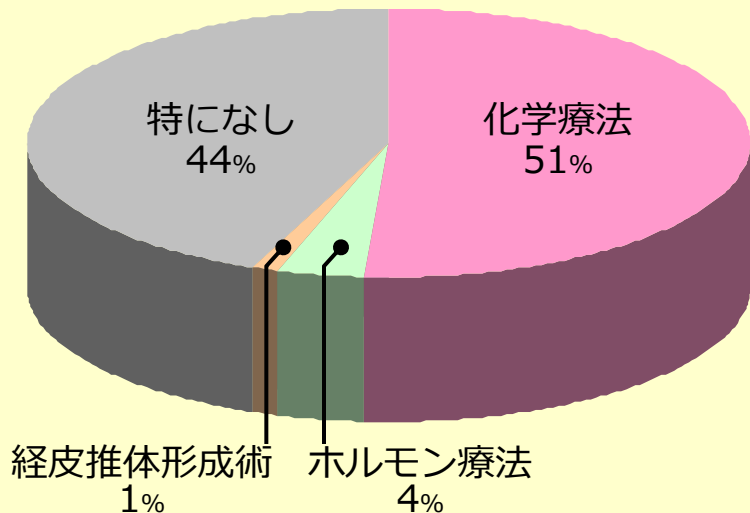


最近の考え方

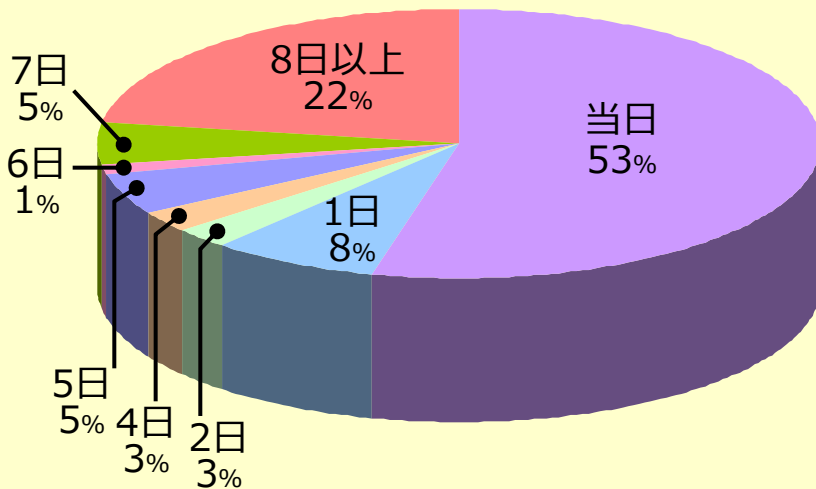


緩和ケア外来の併診依頼の内訳

依頼元科の治療内容 (n=80)



依頼日から受診日までの日数 (n=80)



約半数の方が化学療法と緩和ケアを並行して受けています

当院の緩和ケアに関する課題

- ▶ 症状緩和に関して
 - ▶ オピオイドなどの処方適切にされるようになりつつあるが、副作用対策や患者への説明が不十分で患者が積極的にオピオイドを使用できない。
- ▶ 緩和ケア科との併診
 - ▶ 症状がない場合、進行がん患者であっても緩和ケア科を紹介するタイミングが遅れがち。
 - ▶ 症状緩和目的の併診開始では、症状緩和が図れた後は、患者の受診動機があいまいになり、併診が途切れることがある。
- ▶ 緩和ケア病棟への入院（緩和ケア科への転科）
 - ▶ 緩和ケア病棟に入院する際には、がん治療の中止、DNARが必要条件になり、患者が抵抗感をもつ場合がある。



診断時からパラレル
に緩和ケアを提供
するには・・・

治療科での診断時からの緩和ケア

- ▶ 診断時から治療科での基本的な緩和ケアが重要
- ▶ 患者の心のつらさに対応する
 - ▶ 患者の気持ちに配慮した声かけ
 - ▶ 不眠・不安への対応
 - ▶ 必要に応じて精神ケアの専門家の紹介
 - ▶ 家族（特に子ども）に関する配慮
- ▶ 症状があれば、しっかり対応する
 - ▶ 受診毎に痛み（症状）の有無を尋ねる
 - ▶ 適切な症状緩和と適切な服薬指導
 - ▶ 身体的苦痛が強い場合には専門的緩和ケアの導入を検討

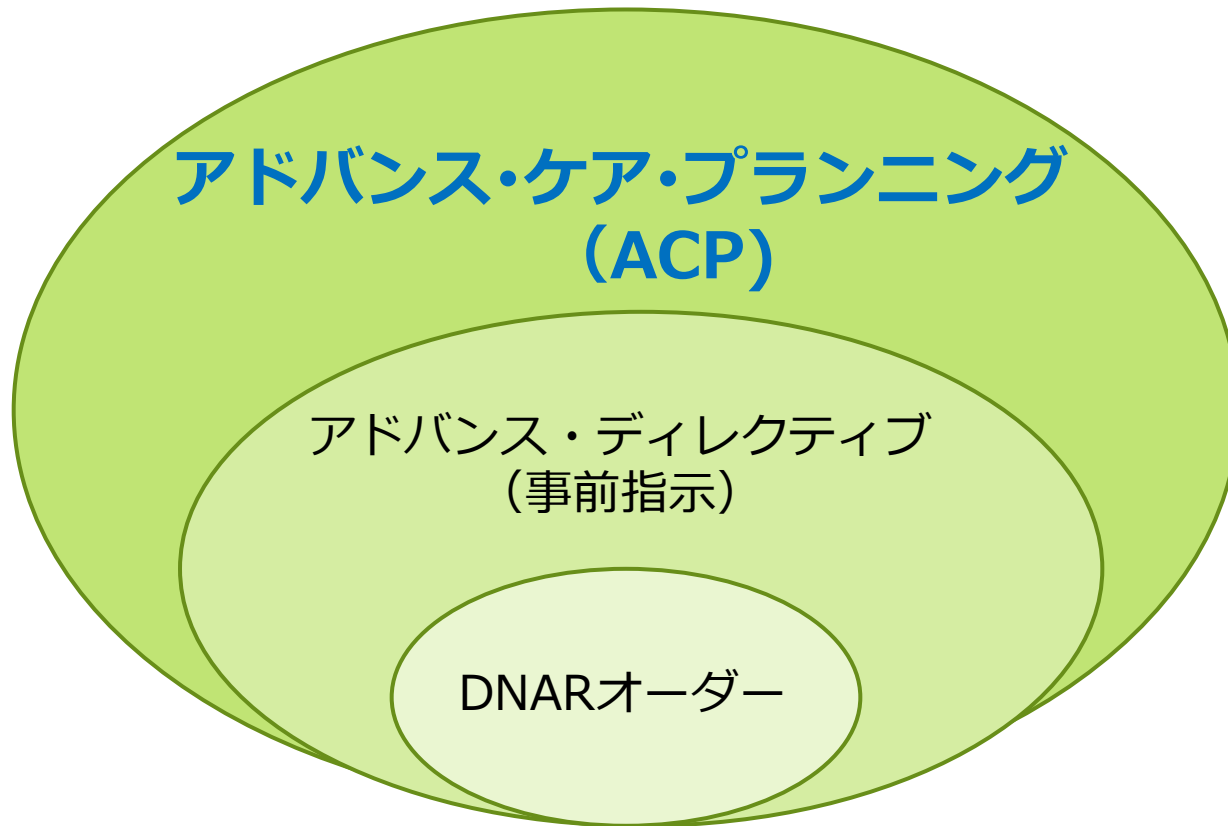


スムーズに緩和ケア中心へ移行するために

- ▶ 常に患者に病状を正しく理解しておいてもらう
- ▶ 患者に早い段階で緩和ケアに関する正しい情報提供を行う
- ▶ 早い段階で患者の人生観（最期の過ごし方の希望）を確認しておく。
- ▶ 治療が難しくなった段階では、患者のQOLを考慮して化学療法のリスクと共に緩和ケアの選択を促す
- ▶ 意思決定のプロセスを多職種チームでサポートする。



アドバンス・ケア・プランニングとは (事前のケア計画)



(NHS HP : Advance Care Planning:A Guide for Health and Social Care Staff)を一部改変

当院の取り組み

私のリビングウィル

自分らしい最期を迎えるために

名 前

診察券ID



聖路加国際病院

もし、あなたが病気や事故で意識や判断能力の回復が見込めない状態になった場合、どのような治療を望まれますか？

当院では、「患者との協働医療」を実現するため、患者さんの価値観に配慮した医療を行うことを、基本方針としています。誰もが必ず迎える最期においても、できるだけ自分らしい最期を迎えていただけるように考えています。

そこで今、お元気な時に、意識や判断能力の回復が見込めない状態になった場合をあらかじめ想定していただいて、その際にはどのような治療を望まれるか、そのご意思（私のリビングウィル）をお示しいただけないでしょうか？

なお、どのような場合でも、痛みなどの苦痛の緩和は並行して行います。また、ご本人と相談できる場合はいつでも治療方針について相談させていただきます。

もし、あなたが病気や事故で意識や判断能力の回復が見込めない状態になった場合、どのような治療を望まれますか？

下記の5つのうち、ご自身のお考えに最も近いものに○をお付けください。

1. 人工呼吸器、心臓マッサージ等生命維持のための最大限の治療を希望する。
2. 人工呼吸器等は希望しないが、高カロリー輸液（ゆえき）や胃瘻（いろう）などによる継続的な栄養補給を希望する。
3. 継続的な栄養補給は希望しないが、点滴等の水分補給は希望する。
4. 水分補給も行わず、最期を迎えたい。
5. その他

年 月 日

本人署名

年 月 日

家族署名

続柄

家族署名

続柄

年 月 日

医療者署名

職種

もし、あなたが病気や事故で意識や判断能力の回復が見込めない状態になった場合、どのような治療を望まれますか？

下記の5つのうち、ご自身のお考えに最も近いものに○をお付けください。

1. 人工呼吸器、心臓マッサージ等生命維持のための最大限の治療を希望する。
2. 人工呼吸器等は希望しないが、高カロリー輸液（ゆえき）や胃瘻（いろう）などによる継続的な栄養補給を希望する。
3. 継続的な栄養補給は希望しないが、点滴等の水分補給は希望する。
4. 水分補給も行わず、最期を迎えたい。
5. その他

年 月 日

本人署名

年 月 日

家族署名

続柄

家族署名

続柄

年 月 日

医療者署名

職種



まとめ

- ▶ 診断時から治療科で心のケアを含めた基本的な緩和ケアを提供することが重要である。
- ▶ 進行がん患者では、早い段階で専門的緩和ケアに関する情報提供とアドバンス・ケア・プランニングなどによる意思決定のサポートを多職種チームで行っていくことが望ましい。

